

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

|  |  |  |   |             |           |                 |
|--|--|--|---|-------------|-----------|-----------------|
| 事業名  | 一般国道275号 <small>えべつきた</small> 江別北道路  |  | 事業区分  | 一般国道        | 事業主体      | 国土交通省<br>北海道開発局 |
| 起終点  | 自： <small>ほっかいどうえべつ</small> 北海道江別市角山<br>至： <small>ほっかいどうえべつ</small> 北海道江別市篠津 |  |   |             | 延長        | 3.5 km          |
| 事業概要<br>一般国道275号は、札幌市を起点とし、浜頓別町に至る延長約281kmの幹線道路である。<br>江別北道路は、2車線区間のボトルネックによる交通混雑の緩和や交通事故の低減を図り、道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長3.5kmの4車線拡幅事業である。   |  |  |   |             |           |                 |
| H20年度事業化   | H1年度都市計画決定<br>(H1年度変更)   |  | H22年度用地補償着手   |             | H24年度工事着手 |                 |
| 全体事業費  | 約210億円   | 事業進捗率  | 約78%  | 供用済延長       | 1.7 km    |                 |
|  |  | <small>(令和2年3月末時点)</small>   |   |             |           |                 |
| 計画交通量  | 20,000～29,200台/日   |  |   |             |           |                 |
| 費用対効果<br>分析結果  | B/C<br><small>(事業全体)</small> 1.1<br><small>(残事業)</small> 6.9                 | 総費用<br><small>(残事業)/(事業全体)</small><br>28/233億円<br>事業費：21/219億円<br>維持管理費：6.6/13億円 | 総便益<br><small>(残事業)/(事業全体)</small><br>194/257億円<br>走行時間短縮便益：174/236億円<br>走行経費減少便益：15/17億円<br>交通事故減少便益：4.8/4.8億円 | 基準年<br>令和2年 |           |                 |
| 感度分析の結果<br>事業全体及び残事業について感度分析を実施<br>【事業全体】交通量：B/C=1.01～1.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±20%）<br>【残事業】交通量：B/C=6.3～7.5（交通量±10%） 事業費：B/C=6.4～7.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=6.7～7.1（事業期間±20%）  |  |  |   |             |           |                 |
| 事業の効果等<br>事業の必要性及び効果<br>①交通混雑の緩和<br>・交通混雑を緩和し、定時性の確保や利便性向上が期待される。<br>②道路交通の安全性向上<br>・4車線から2車線への車線減少によるボトルネック区間を解消し、走行環境が向上するなど道路交通の安全性向上が期待される。<br>③重要港湾への利便性向上<br>・安定した輸送ルートを確保し、重要港湾石狩湾新港への利便性向上が期待される。<br>④食品雑貨等の流通利便性向上<br>・円滑な交通を確保し、食品雑貨等の流通利便性向上が期待される。<br>⑤救急搬送の安定性向上<br>・交通混雑の緩和を図り、高次医療機関への救急搬送の速達性及び安定性向上が期待される。<br>⑥観光地への利便性向上<br>・定時性を確保し、主要な観光地への利便性向上が期待される。<br>⑦冬期間の走行環境の安全性向上<br>・防雪対策により地吹雪発生時の視程障害が緩和され、冬期走行環境の安全性向上が期待される。 |  |  |   |             |           |                 |
| 関係する地方公共団体等の意見<br>地域から頂いた主な意見等：<br>北広島市など6市1町1村の首長で構成される「北海道石狩地方開発促進期成会」等から、整備の要望を受けている。<br>知事の意見：<br>現道の4車線化により、交通混雑の緩和や交通事故の低減が図られ、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。<br>なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト削減を図り、引き続き、効率的・効果的な執行に努め、早期に全線供用を図るようお願いいたします。   |  |  |   |             |           |                 |

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・道央圏連絡道路 美原道路(豊栄ランプ～蕨岱ランプ)開通、泉郷道路(中央ランプ～南長沼ランプ)開通
- ・一般国道275号 蕨岱拡幅全線開通
- ・一般国道337号 当別バイパス全線開通
- ・北欧の風道の駅とうべつ開業
- ・石狩湾新港 石狩LNG基地運転開始、石狩湾新港発電所(LNG火力発電所)運転開始
- ・新千歳空港 国際線ターミナル前エプロン拡張部暫定供用、国際線ターミナルビル拡張工事完了

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度に工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率約78%となっている。(令和2年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造、工法等の変更は無いが、引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

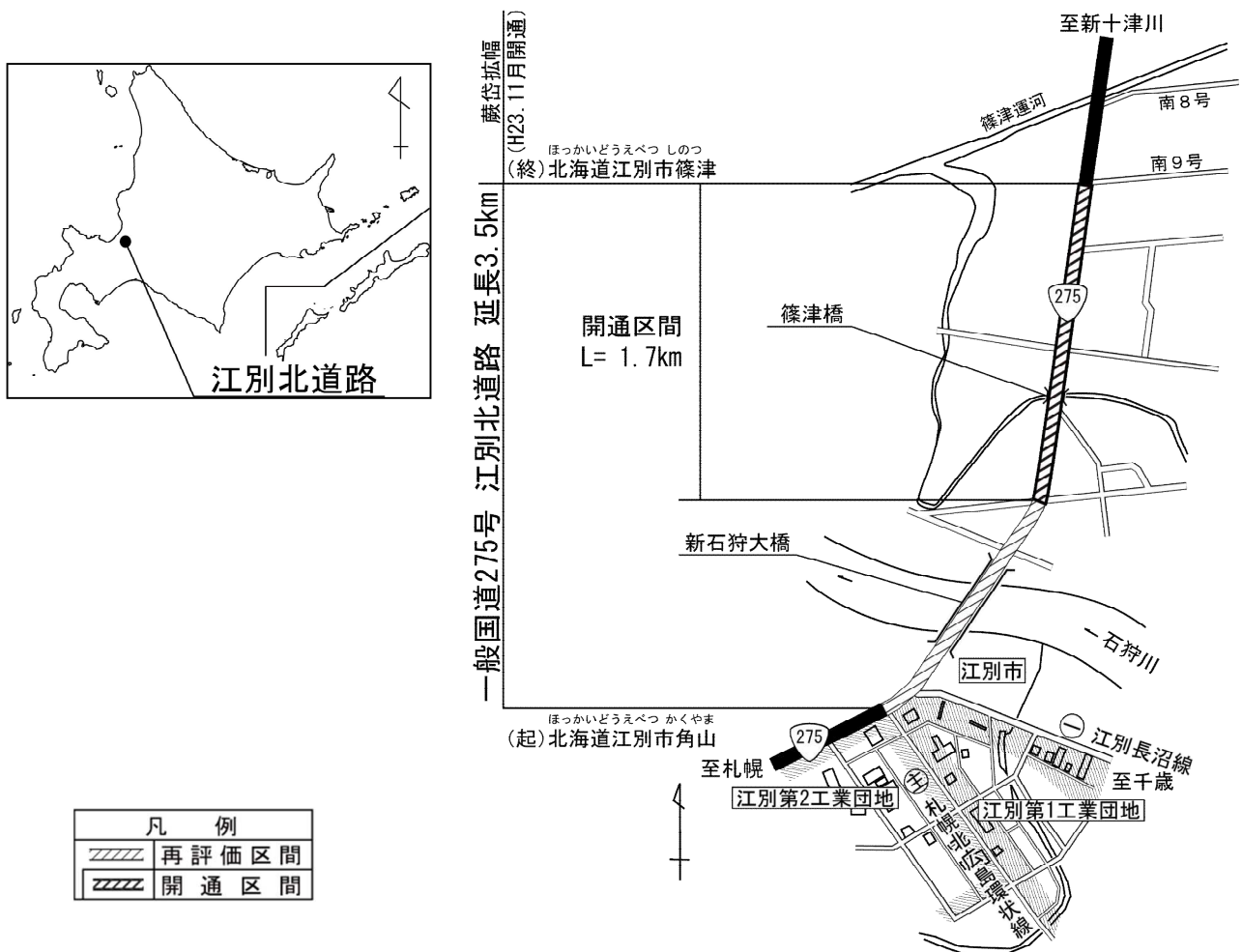
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。